

## エルトロンボパグ服用中患者の自己血血漿の色調変化

加藤 由佳<sup>1)</sup> 山田 攻<sup>1)</sup> 鈴木 雅之<sup>1)</sup> 内野富美子<sup>1)</sup> 山 麻衣子<sup>1)</sup>  
本田 優未<sup>1)</sup> 岡田 義昭<sup>1)</sup> 池淵 研二<sup>1)2)</sup>

- 1) 埼玉医科大学病院輸血・細胞移植部  
2) 埼玉医科大学病院中央検査部

キーワード：エルトロンボパグ，自己血貯血，血漿着色

再生不良性貧血症例で寛解中の60歳代女性が、左大腿骨脆弱性骨折と診断され、人工股関節置換術を当院で受ける予定となった。手術前に400mlの自己血採血を行い、輸血部にて赤血球液/自己フィブリン糊/脱クリオ血漿を調製する段階で、遠心分離した血漿の着色が著明であることに気が付いた。

血漿の外観上溶血はなく、生化学検査はLDH 153U/l、K 3.5mEq/l、ビリルビン 0.2mg/dl と上昇はなく、ハプトグロビンも 221mg/dl と低下は認められなかった。内服薬による着色を疑い調べたところ、エルトロンボパグの医薬情報に血漿の色調変化の記載があった。同様の報告が複数あり<sup>1)~3)</sup>、エルトロンボパグによる着色を疑った。主治医に報告し、手術時の輸血は注意しながら実施するよう依頼した。術後に自己赤血球液と脱クリオ血漿を輸血し、輸血副作用は生じなかった。

再生不良性貧血や特発性血小板減少性紫斑病の患者がエルトロンボパグ内服下で自己血を貯血することは稀と思われるが、今後他の医療機関でも同じような事例に遭遇する可能性も考えて報告する。

著者のCOI開示：本論文発表内容に関連して特に申告なし

### 文 献

- 1) West KA, Leitman SE, Flegel WA: Muddy waters in therapeutic plasma exchange. *Transfusion*, 54: 2157, 2014.
- 2) Cardamone D, Milone MC, Glaser L, et al: Eltrombopag and serum of a different hue. *Arch Pathol Lab Med*, 137: 1175, 2013.
- 3) 宮尾康太郎, 竹内達哉, 唐澤千夏, 他: エルトロンボパグは用量に依存して患者血漿を褐色に変化させる. *臨床血液*, 59: 2397, 2018.

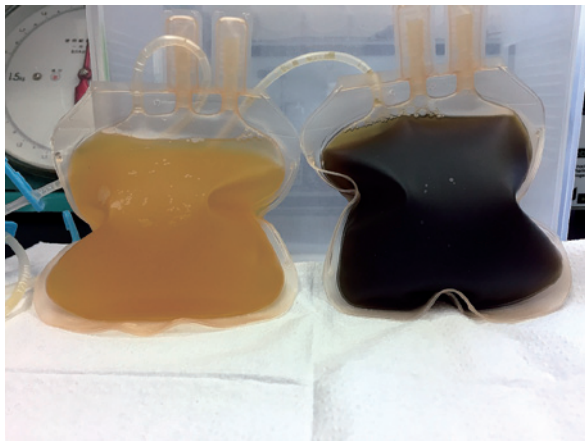


図 自己血採血時の自己血漿の色調  
(左) 同日処理した別患者の血漿バッグ, (右) 本症例の血漿バッグ

## **MURKY BROWN PLASMA FROM A PATIENT TREATED WITH ELTROMBOPAG ON AUTOLOGOUS BLOOD STORAGE**

*Yuka Kato*<sup>1)</sup>, *Osamu Yamada*<sup>1)</sup>, *Masayuki Suzuki*<sup>1)</sup>, *Fumiko Uchino*<sup>1)</sup>, *Maiko Yama*<sup>1)</sup>, *Yumi Honda*<sup>1)</sup>,  
*Yoshiaki Okada*<sup>1)</sup> and *Kenji Ikebuchi*<sup>1)2)</sup>

<sup>1)</sup>Department of Transfusion Medicine and Cell Transplantation, Saitama Medical University Hospital

<sup>2)</sup>Department of Laboratory Medicine, Saitama Medical University Hospital

**Keywords:**

autologous blood storage, brown colored plasma, eltrombopag

---

©2019 The Japan Society of Transfusion Medicine and Cell Therapy

Journal Web Site: <http://yuketsu.jstmct.or.jp/>